右馬允だより

暑かった夏もようやく姿を消し朝の冷気が快い良い候となりました。庭のもみじもほんのりと色ずいて……栗のイガが実……黄金に実った稲穂は9月の10日頃収穫に農家の皆さんは大忙しで今は天日で自然乾燥中で静かな豊かなたたずまいとなっています。今年はお米も栗も豊作のようです

昨年久美の呼びかけで集まった都会の青年たちの里山応援隊は今年は2人だけで微力なものでしたが主人の大の仲良しの従兄の御長男聖斗(きよと)さん(大三年生)の4日間の応援が久美を勇気づけ作業も捗ったようで久美個人の畑の草も片付いて大根や源助菜の種も蒔き終え田んぼの稲刈りはさかけひととおり終って聖斗さんに大感謝でした。若いカは頼もしく元気の源動力だなぁと幼く二人をみながら思ったものです

話は前後しますが一年振りに私たち三人登山(三伏ー鳥帽岳ー小河内岳)して来ました。9月10日土ようびのことです安定した上天気の日で前小河内岳の頂上で2時間近く美しく目の前にみえる富士山を正介と二人独めで最高の気分を味わいました。(この間に久美は1人で小河内岳まで……中学の夏山登山のときでしたのだ懐かしく紛んでいって来ました) 5:30出発の6:00帰宅。いい山です。今年は花はほとんど終っておりましたがマツムシ草や更科ニョウマ、大文字草、梅ばち草などが優しく咲いて待っていてくれました。熊の恐いなぁと思いながら家を出ましたが駐車場はもういっぱいで山の人気はすごい!! こんなんだったら熊なんてちっとも恐くない という現状でした。次の日12日の日ようびは のびマッサージ 全身のツボマッサージで正介も私も山の疲れはすっかり解消さい あー いいものだなぁと幸福でした。

まつたけ情報

いよいよ日本のまつ茸が動きはじめました。雨が降って寒さが来てくれれば条件は揃います。25日頃からそれまで一言も聞けなかった松茸の情報が流れはじめ26日には現物を目の前にすることが出来予約の入っていた27日のお客様にはまだはしりの小さくはありましたがしっかり堪能していただくことが出来ました。大よろこびで帰っていかれました。こういう優雅なすたちがいるんだなぁと、人間の世界にはいろいろな層があるものだと感心させられました。